

サモアOB会ウェブサイト リニューアル！

2006年10月、OB会の活動紹介とサモアに関する情報のより一層の共有化を図るため、ウェブサイトをリニューアルしました。現在までのトップページへのアクセス件数は813件(2006/11/1～2/5)、国別では日本、サモア、パキスタン、米国などから、また国内では東京、愛知、埼玉、北海道、熊本、大阪などの都道府県からアクセスがあります。アクセス件数に対する評価は人様々と思いますが、当OB会としては今後一層コンテンツの充実に努めて行ければと考えております。

掲載情報があれば当OB会(samoa@fafetai.net)へご連絡下さい。また皆様からのリンクも大歓迎です。

(サモアOB会ホームページアドレス <http://fafetai.net/>)

新着情報		更新情報	
2007/01/29	サモア訪問者統計(サモア観光局発表)	2007/01/14	役員に歴代の役員を追加しました。作業中ですので特記の注釈を添付しました。
2007/01/03	サモアMLの追加募集開始		
2006/11/11	サモアMLの公開(2006年2月～2007/1/5)		
2006/12/30	祝のサモアの島を再探訪		

A S A M O A

青年海外協力隊 サモアOB会会報 Vol.7

発行責任者 大塚一雄
編集者 山本耕司
2007年3月発行



サモア写真コンテスト開催！

～貴重なお宝写真が集合～



【準大賞】



【大賞】



【準大賞】

OB会ではこれまで各種イベントにおいて、サモアの風景などを写した自作の写真パネルを展示し、サモアの広報を行ってきました。しかし10年以上同じものを使用しており、内容も古いものになってきたため、刷新を図るべく「サモア写真コンテスト」を開催しました。

サモアMLで呼びかけたところ、最終的に7名からの貴重な30作品が集まりました。応募のあった作品については、「サモアがこんな国であるということを一般の人に伝えられるもの」や、「サモア関係者がサモアらしいと共感できるもの」という選定基準に基づき、サモアMLを通じて皆様より投票をして頂き、得票数の上位作品から順に「大賞」(1作品)、「準大賞」(2作品)、「佳作」(2作品)の計5作品を選定致しました。



今回の受賞作品はもちろんのこと、惜しくも入賞をのがした作品も力作ぞろいで、かつ思い思いのサモアを表現していました。作品につきましては、今後各種イベントを通じてサモアの広報に利用させていただきます。詳細については以下をご覧ください。

<http://fafetai.net/activities/photo-contest/photo-contest.html>

(大塚一雄)

多数のご応募
ありがとうございました。

グローバルフェスタJAPAN2006 【2006.9.30~10.1 於 日比谷公園】

～パンケケでんてこまい、ブランニューな民芸品、そして感動の大成功～



国際協力フェスティバルから名称を変更し2回目となるフェスタですが、今年も9月30日(土)、10月1日(日)の両日に渡り盛大に開催されました。2日目の雨にもかかわらず、2日間で6万7千人の入場者を迎える大盛況で、サモアブースにも多くの方が訪れました。

近年は出展団体も大幅に増え、抽選となる団体もある程厳しい状況ですが、協力隊OB会はJOCAの力を借りることで場所を確保できています。中でも長年出展実績のあるサモアOB会は、事務局の厳しい審査を問題なくクリアし、毎年フェスタに参加することができています。またスタッフ募集の呼びかけに、今回はOB始め、(社)日本空手協会目黒支部のカラテ家達もボランティアを買って出してくれました。紙面を借りて御礼申し上げます。



長蛇の列！



子供に大人気！

さて当日は、恒例のパンケケ販売と民芸品の販売、写真の展示、パンフレットの配布などを行いました。パンケケが例年にも増して好評で、揚げたてが冷める間もなく飛ぶように売れ、厨房はでんてこまいでしたが、なんと800串(2400個)を完売することができました。尚このパンケケは、オリジナルとは少し違い日本人の味覚に、よりマッチするように、無線通信機隊員の藤田さんが長年研究を重ねたものです。

民芸品テントでは、サモア写真コンテストの入賞作品をパネルにした新しい写真や、数学教師清水さんが9月に現地で調達してきたばかりのブランニューな民芸品が華やかに並び、ブースを彩りました。

この先何年かは展示に使えると思っていたものの、終わってみればほとんど完売でした。来年もまた調達しなければならないという、嬉しくも困った状態です(どなたか近々サモアに行く予定がありましたらご一報ください)。また音楽隊員澤井さんの伴奏と、タウポーというタイトルを持つ藤原さん、サモア人口テさんの本格的なダンスでサモアムードを高め、パンケケチームに負けず盛り上がりました。



苦勞して買ってきた民芸品

また、来てくれたお客さんとのコミュニケーションも大切な仕事です。毎年必ずパンケケを買ってくれるリピーターのお得意さん、協力隊志望者、現隊員のご両親、サモアに行ったり住んだりしたことのある方、スタッフの家族や友人、民芸品に興味を持ってくれる人などが大勢訪れ、いろいろな楽しい話を聞くことができました。またパンケケには、皆さん様にそのおいしさに感心し、喜んでくれました。

開催地が東京ということもあり、遠くの方にはこのような形でしか報告できないのですが、いつも応援していただきありがとうございます。長いフェスタを乗りきった時は、年代、OBの枠を越えて皆で感動できます。サモア好きが集う数少ないチャンス、ご都合が許すときにはぜひ参加いただければうれしく思います。

(山本耕司)



バイリマで乾杯



“テイネダンサーズ”

～納豆密輸入 Mr. シミッシュの日記～【2006.9】

【サモア到着】

4年ぶりのサモア行きとなった。隊員のために大量の救援物資(納豆、納豆ふりかけ、納豆味噌汁、納豆菌、etc)を持ってファレオロ国際空港に降り立った。懐かしくてデジカメで動画を撮りながら飛行機のタラップを降りると、いきなり警察官が寄ってきた。空港は撮影禁止だったか？逮捕されるかとびっくりしていると、警察官は「ハイ、ミスターシミッシュー」と声をかけてきた。どうして俺の名前を知ってるんだ！！

2度びっくり。なんとわが職場(ポールVIカレッジ)の生徒であった。当時小柄で細身だった生徒がサモア人らしい体型になっているので気づかなかったが、顔をよく見ると昔の面影が残っている。当時の生徒が警察官になっているとは、ずいぶん時がたってしまったのですねえ。

イミグレーションを出て、客引きをしているタクシー運転手を見てまたびっくり。またしても生徒であった。サモアって狭いなあ、と実感する(当たり前か?)。元生徒のタクシーでアピアまで乗せていってもらいながら、学校の先生達や、生徒達のその後の動向を色々教えてもらった。



いきなり逮捕された! (?)



大魔王も健在!

本日の宿泊はバイバセ・ウタにあるホテル「魔王殿」(OB佐久間氏の家)。着いたのは夜中だったが、Vailimaを飲み始める。ホテル代(納豆)を支払うと佐久間氏(以下「魔王」)はさっそくVailimaのつまみに食べだした。大阪出身だが納豆大好きらしい。

【1日目】

土曜日であるが魔王は仕事に出かけてしまい、とりあえず都心までプラプラと歩き始める。懐かしいので色々見ながら1時間もかけて歩いてやっと到着。偶然現ポールVI勤務の竹田隊員に会ったので、一緒にピナッキーで昼食をとる。場所は移転していたが、相変わらずのメニューであった。

隊員宛の納豆等を持って隊員連絡所まで行くと、大量の納豆を見て、某女性隊員が「うわー、納豆だ!! 納豆だ!! 納豆だ!!」と喚声を上げて喜んでくれた。こんなに喜んでくれるとは持ってきた甲斐があつてうれしい(電池切れでその瞬間を動画に撮れなかったのが残念)。納豆を前菜代わりに食べて、中華料理屋で夕食食べながらVailima。途中魔王も加わり大いに盛り上がる。

【2日目】

魔王と隊員の藤井氏と私の3人でパロロディープに行く。泳いで浜辺で寝て、のんびり本読んで、いい気分。これでVailimaがあれば言うことないのだが、買ってくるのを忘れてしまった。

その後、UNVの菊池さんの家に行く。菊池さんは私が隊員中にもUNVでサモアに居た方で、最近また家族で戻ってきたそう。私の姿をみてびっくりしていた。菊池さんと娘さんも納豆が好きだそうで、納豆を数パックおすそわけ、また、日本から納豆菌を送るよう頼まれる。

【3日目】

本日は月曜。月曜と言えばHASH。HASHとは、走ってビールを一気飲みするとてもクレイジーな会である。サモア在中はほぼ毎週参加していた。藤井隊員はなんとランナーだそうで、参加したいというので「よっぽどクレイジーな人でないと参加すべきではない」と止めたが、「クレイジーだ」という自信があるらしく、一緒に参加することになった。



HASHの仲間

開始場所は毎週変り、今回はロテマウセンターの向かいあたり。本当は山道とか道無き道に行くようなHASHが好きであるが今回は都会HASHでちょっと残念であった。大分メンバーが変わってしまったが、10年前から居た人にも会えて再会を喜び合う。走った後の一気飲みは相変わらずクレイジーであった。

【5日目】

やっと我が母校、ポールVIカレッジへ。金曜日にMercy Dayというイベントがあり、今週は歌とか踊りの練習だそう。近くの教会で歌の練習を見学。もうほとんど知っている先生がいなかったが、私がいいたときに辞めてしまった先生が戻ってきていたのにはびっくり。思わぬ再開で互いに驚いた。私の在任中いた当時若かったシスターが、今は校長になっていた。

レウルモエガの村をみて回ったが、様子があまり変わっていないので安心する。歩いているとほうぼうから「シミッシュー」とか「ミキオ」とか声がかかる。年月がたってもしっかり覚えてくれているのがうれしい。やんちゃだった女生徒が子供を連れて歩いているのを見ると時がたったのだなあ、と実感する。

夕方、野菜隊員の竹田氏と走りに行く。竹田氏は東京農大時代、駅伝選手だったそう。昔よく走った道を行く。ファレオ口空港を通り過ぎてしばらく走ってUターン。実はこの辺にアギーグレイスホテルができたと聞いたので、せっかくだからみてこようかと思ったのだが、なかなかたどり着かず諦める。今夜は竹田隊員、ピースコー2名と一緒に夕食&Vailima。



【6日目】

今日も歌と踊りの練習を見学。明日は最終日なので、アピアで買い物などをしようと思っていたが、せっかくイベントがあるのだから来い、と校長から誘われる。どーしようかなあ???

とりあえずアピアに戻り、夜はサモア在住の日本人理恵子さんの家に魔王と一緒に邪魔する。理恵子さんはサモア人と結婚して、サモアに住んでいる。前回来たときはニュージーランドに行っていて会えなかったのだが最近旦那さまと一緒に戻ってきたそう。3人の子供さんはみなニュージーランドに居るそうで、会えなくて残念。懐かしい話をしながら、ビールを飲んでもくれる。

【7日目:最終日】

やはりせっくなので見に来た。MercyというのはポールVIカレッジを作った修道会の名前で、その修道会を記念するイベントのようだ。生徒達は一生懸命練習した歌や踊りを披露してくれ、ニュージーランドからはるばる来たMercy系の生徒達も踊りを見せてくれた。サバイイの学校から来ていた先生の中には、元ポールVIのシスターがいて、またまたびっくり。今度サモアに来たときは必ずサバイイに来い、と念を押される。シスターを辞めてお母さんになった人にも会えたが、あまりに太ってしまっていたのでわからなかった。

今回の滞在は偶然学校のイベントと重なり、思わぬ出会いがあり、本当にうれしく、いい思いをした。多くの人と別れを惜しみ、レウルモエガを後にする。

夜は懐かしのピザ屋「ジオダノス」で魔王、隊員、専門家の人達と最後の晚餐。2次会もバーで飲んで、ふらふらの状態でファレオ口空港へ向かう。1週間があつという間に終わってしまった。ちょっと短かったが、色々な人と出会えて、本当に楽しい1週間であった。サモア人の暖かさに触れ、こちら心も暖まった体験であった。

空港内の免税店でお土産のVailimaを買おうとすると、女性店員が「ヘイ、シミッシュー!!」……



(清水幹雄)

ポールVIの生徒達

「第1回 協力隊まつり(仮称)」(案)

現在、JOCAが企画中の新しいイベントについて、各OB会も加え論議が交わされております。決定事項は、追ってMLなどでお知らせします。

..... 企画案抜粋

【目的】平成17年10月に開催された「JOCV発足40周年記念ボランティアフェスタ」をきっかけに高まった帰国隊員の意識を継続し、さらなるボランティア事業の啓発・広報を踏まえたボランティアの募集に対し、帰国者がその一翼を担うことを目的に独自のお祭りを開催することとする。また開催場所は、ボランティア事業の発足の地であり、私たちの慰霊碑を建立している「JICA地球ひろば(広尾)」を使用することとする。

主 催： (社)青年海外協力協会

日 時： H19年4月21日(土)11:00~17:00

22日(日)10:00~17:00

場 所： JICA地球ひろば(広尾)

来場者： JOCV帰国隊員、SV帰国者、JOCV及びSV参加希望者 その他

参加者： JOCV関連の県別、国別、職種別OB会、SV帰国隊員の会、

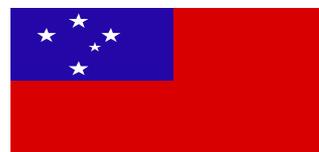
各国大使館関係者 その他

内 容： ①展示、食品販売、民芸品販売 ②ステージでの音楽、演舞披露

③講演会、パネルディスカッション ④ボランティア募集ブース設置 その他



サモア紹介DVD



昨年末サモアMLを通じて、近年サモアで行われているサモアダンスフェスティバル「Teuila」の情報提供を求めるメールが流れました。これに対し多くの方から関係情報の提供があり、また在サモアの小林様のご厚意により、当OB会に「Teuila2006」および「Welcome to Samoa」の計5枚のDVDを提供していただき、最新のメディアを入手することができました。

このDVDの貸し出しを希望される方は(samoa@fafetai.net)へご連絡下さい。

①Welcome to Samoa (収録時間:約21分)

サモアへの観光誘致のために制作された、ホテルや食べ物、カバ儀式、名所などの紹介。

②Teuila 2006 (収録時間:約2時間)

通常のサモアダンスに加え、Sasaや西洋風のダンス(驚き)まで、全編ダンス満載。

(DVDの詳細内容は <http://fafetai.net/samoa-dvd/samoa-dvd.html>)

(大塚一雄)

サモアOB会会報は、年一回発行しております。

会報・サモアOB会に関するご感想、ご意見などをお待ちしています。

OB会役員宛メール samoa@fafetai.net (サモアOB会役員8名に届きます。)

OB会メンバーリスト vailima@fafetai.net (サモアOB会会員150名以上に届きますので、送信の際には内容を充分ご確認くださいませようお願いします。なお、使用に当たりまして右をご覧ください。<http://fafetai.net/top-contents/samoa-ml.htm>)

2006年度の収支について

皆様からの年会費のお振り込みありがとうございました。グローバルフェスタの負担は毎年大きく、収支がマイナスまたはゼロに近くなるのですが、2006年は例年になくフェスタの売上が伸びました。サモアの広報・親善活動に有効活用し、OBを始め新隊員、現隊員まで広く支援していきたいと思っております。

また昨年度に開催された協力隊40周年記念行事が、形を変え毎年4月の年行事になる予定です。このため今後フェスタ級の負担が年に2回も必要になります。今後とも皆様のご協力をお願いします。

【2006年度暫定収支】

(藪内美香)

収入		支出	
繰越金	355,588	壮行会新隊員分	13,424
会員年会費	42,000	JOCA年会費	30,000
JOCA事業参加助成金	100,000	サモア紹介DVD経費	15,502
JOCA通信費助成金	51,090	OB、関係機関への通信費	46,256
グローバルフェスタ売上	103,655	グローバルフェスタ経費	67,855
計	652,333	計	173,037



編集後記

本年度は、役員でありながら公私共に激動の年であり、イベントにほとんど参加することができませんでした。来年度は、初心に戻って再スタートし、サモアOB会のバックアップしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。(S63-1 新井)

帰国して早6年が過ぎ、サモアの記憶も薄らいできた今日この頃。またSIVAに会ってしまいました。あのリズムを聞くと元気になります。落ち込んでいたこともばかばかしくなるくらい。さあ！みなさんも一緒にSIVA SIVA MAI！！(H10-1 河野)

訓練所の同期のフィジー隊員が帰国して日本で働いていたのですが、やっぱりフィジーがいいってということで、最近フィジーに戻ったみたい。現地地待っている彼女もいるみたいで、やっぱりインド人はいいらしい。(H11-3 玉木)

Ua lelei lava ia tatou e mafai ona siva faatasi !
近頃、日本におけるサモアン・ダンスの活動に協力を始めました。毎週1回、西荻窪の公共施設で稽古を行っています。思えば10年以上も前、サモアを離れるときには『日本でもシヴァやろう』を合言葉に帰国したものでした。とはいえこういうことは機会がないと中々始められないもので・・・今回、隊員OGの河野さんと世界旅行博でサモアン・ダンスを披露した藤原さんとの交流がきっかけで、新たに日本におけるサモアン・ダンスグループが設立しました。皆さまがたも是非一度のぞきにいらして下さい。(H6-2 澤井)

グローバルフェスタでパンケケ作りを担当して3年目になり、ようやくパンケケを揚げるコツをつかんだところです。サモアの味が恋しくなったら、是非イベントに足を運んでいただき懐かしのパンケケを味わってみて下さい。お手伝いをして下さるOBも大歓迎です！(H9-1 藪内)

久々のサモア行きで楽しい思い出をしてきたが、休みが終わり職場に戻ると、サモアとの落差に驚く。隣の席の人とEメールでやり取りし、会話もあいさつもほとんどしない所で、サモアと大違い。こんなつまらない職場やってらんねーぜー。今年はサモアでSouth Pacific Gameというスポーツイベントがある。また今年も行こうかな。(H6-3 清水)

昨年、OB会のウェブサイトのリニューアルしたことから、最近、ウェブサイト更新にはまっています。皆さん掲載する情報があればぜひ送って下さい。また肉体は年々衰え始めていますが、気持ちは十数年前にOB会を立ち上げた時のようにパワフルになっています(笑)。(S63-3 大塚)

最近会員制ブログに登録しました。「サモア」のキーワードで検索すると、すごい数のサモア関係がヒットしておどろきます。マイナーかと思いきや、結構サモアって有名なんですね。隊員時代のなつかしい人や、なんと本物のサモア人まで登録されています。勇気がないので「声」はかけられませんが・・・(H9-3 山本)

【特別ゲスト】(S62-1 山崎) —パキスタンより—

昨年暮れの事です。パキスタンのイスラマバード国際空港の待合室で同じ時期サモアで暮らした3人が再会しました。昭和61年2次隊の山上さん、昭和62年3次隊の小林さんそして同1次隊の私です。異国の地、しかもマイナーな地での再会はJOCVのOG・OBならではの事、ご活躍をお祈りいたします。